

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7559687号
(P7559687)

(45)発行日 令和6年10月2日(2024.10.2)

(24)登録日 令和6年9月24日(2024.9.24)

(51)国際特許分類 F I
B 6 5 D 5/10 (2006.01) B 6 5 D 5/10 Z

請求項の数 5 (全12頁)

(21)出願番号	特願2021-105974(P2021-105974)	(73)特許権者	000122298 王子ホールディングス株式会社 東京都中央区銀座4丁目7番5号
(22)出願日	令和3年6月25日(2021.6.25)	(74)代理人	110001807 弁理士法人磯野国際特許商標事務所
(65)公開番号	特開2023-4351(P2023-4351A)	(72)発明者	夏川 準司 京都府京都市南区西九条南田町6-1番地 森紙業株式会社内
(43)公開日	令和5年1月17日(2023.1.17)	審査官	矢澤 周一郎
審査請求日	令和5年8月21日(2023.8.21)		

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 包装箱

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

筒状の胴部と、前記胴部の開口部を閉鎖する閉鎖部とを備えた包装箱において、
前記閉鎖部は、互いに対向する一対のフラップを有し、
一対の前記フラップの先端部には、互いに重なり合った状態で箱の内側に差し込まれる
差込片がそれぞれ形成されており、
前記差込片には、重なり合った前記差込片同士を固定するための係止片が形成されてお
り、
一方の前記差込片に形成された前記係止片の先端縁部は、他方の前記差込片に形成され前
記係止片が通過する切欠きの先端部よりも幅広に形成されている
ことを特徴とする包装箱。

【請求項2】

前記係止片は、一対の前記差込片にそれぞれ形成され、互いに重なり合った状態で折り曲
げられる外側係止片と内側係止片とを備えており、
前記切欠きは、前記内側係止片を前記差込片から折り曲げて形成されている
ことを特徴とする請求項1に記載の包装箱。

【請求項3】

前記閉鎖部は、前記フラップの内側に設けられる内フラップをさらに備え、
前記内フラップには、前記差込片を挿通するスリットが形成されている
ことを特徴とする請求項1または請求項2に記載の包装箱。

10

20

【請求項 4】

前記内フラップは、前記フラップと連設されていることを特徴とする請求項 3 に記載の包装箱。

【請求項 5】

前記閉鎖部は、前記胴部の上部開口部を閉鎖するものであり、切妻形状を呈していることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項に記載の包装箱。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、包装箱に関する。

10

【背景技術】

【0002】

包装箱において、筒状の胴部の開口部を閉鎖する閉鎖部としては、内フラップに形成されたスリットに、外フラップの先端部に設けられた差込片を挿入する構造が知られている（例えば特許文献 1 参照）。差込片は、スリットを通過して包装箱の内側に向かって垂下している。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【文献】実用新案登録第 3 2 2 8 5 0 0 号公報

20

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

前記した従来の包装箱を、例えばペットの搬送に用いると、ペットが箱の内部で動いたときなどに内側から差込片に力が加わると、閉鎖部が開封してしまう場合があるという問題があった。

【0005】

本発明は、前記した問題を解決し、筒状の胴部の開口部を閉鎖する閉鎖部の閉鎖状態を保持できる包装箱を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

30

【0006】

前記課題を解決するため、本発明は、筒状の胴部と、前記胴部の開口部を閉鎖する閉鎖部とを備えた包装箱において、前記閉鎖部は、互いに対向する一対のフラップを有し、一対の前記フラップの先端部には、重なり合った状態で箱の内側に差し込まれる差込片がそれぞれ形成されており、前記差込片には、重なり合った前記差込片同士を固定するための係止片が形成されており、一方の前記差込片に形成された前記係止片の先端縁部は、他方の前記差込片に形成され前記係止片が通過する切欠きの先端部よりも幅広に形成されていることを特徴とする。

本発明の包装箱によれば、係止片で差込片同士が固定されるので、箱の内側から力が加わったとしても、差込片は重なり合ったままである。つまり、本発明の包装箱によれば、フラップが開き難くなるので、閉鎖部の閉鎖状態を保持することができる。本発明の一形態に係る包装箱では、前記係止片は、一対の前記差込片にそれぞれ形成され、互いに重なり合った状態で折り曲げられる外側係止片と内側係止片とを備えており、前記切欠きは、前記内側係止片を前記差込片から折り曲げて形成されている。

40

【0007】

本発明の一形態に係る包装箱では、前記閉鎖部は、前記フラップの内側に設けられる内フラップをさらに備え、前記内フラップには、前記差込片を挿通するスリットが形成されている。このような構成によれば、フラップと内フラップが重なって閉鎖部の強度が増すとともに、差込片がスリットに位置決めされるので、閉鎖部の閉鎖作業を行いやすくなる。

【0008】

50

本発明の他の形態に係る包装箱では、前記内フラップは、前記フラップと連設されている。このような構成によれば、フラップと内フラップとの接続部の強度が増すとともに、フラップが開き難くなるので閉鎖性が向上する。

【0009】

本発明のさらに他の形態に係る包装箱では、前記閉鎖部は、前記胴部の上部開口部を閉鎖するものであり、切妻形状を呈している。このような構成によれば、包装箱の内部空間が大きくなるとともに、包装箱の外観の意匠性が向上する。

【発明の効果】

【0010】

本発明の包装箱によれば、筒状の胴部の開口部を閉鎖する閉鎖部の閉鎖状態を保持することができる。

10

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】本発明の実施形態に係る包装箱を前方右上から見た斜視図である。

【図2】本発明の実施形態に係る包装箱のブランクシートを示した図である。

【図3】本発明の実施形態に係る包装箱の差込片を示した拡大図である。

【図4】本発明の実施形態に係る包装箱の閉鎖部を閉じる前の状態を前方右上から見た斜視図である。

【図5】本発明の実施形態に係る包装箱の差込片同士の固定状態を示した斜視図である。

【図6】本発明の実施形態に係る包装箱の差込片同士の固定状態を示した断面図である。

20

【図7】変形例に係る差込片を示した側面図である。

【図8】変形例に係る差込片同士の固定状態を示した斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【0012】

本発明の実施形態について、適宜図面を参照しながら詳細に説明する。本実施形態では、ペットを搬送する際に用いるペット搬送用の包装箱を例に挙げて説明する。

なお、本実施形態の説明において、同一の構成要素に関しては同一の符号を付し、重複した説明は省略するものとする。また、以下の説明において、前後左右方向とは、本実施形態の包装箱を説明する上で便宜上設定したものであり、包装箱の構成や使用状態を限定するものではない。

30

【0013】

実施形態に係る包装箱1は、図1に示すように、四角筒状に形成された胴部10と、胴部10の下側の開口部を閉塞する下側閉鎖部20と、胴部10の上側の開口部を閉塞する上側閉鎖部30と、を備えている。上側閉鎖部30は、幅方向中間部が高くなった切妻形状を呈している。

【0014】

包装箱1は、図2に示すように、一枚の段ボール製のシートを切り抜いたブランクシートSを各罫線において山折りまたは谷折りすることで形成される。図2に示すブランクシートSは外面側が見えるように配置されている。

ブランクシートSの各罫線（折線）は、ブランクシートSの表面を押し込んで形成された線状の溝（押罫）である。なお、罫線に断続的な切れ込みを形成してもよい。このようにすると、罫線においてブランクシートSを折り曲げ易くなる。

40

【0015】

胴部10は、図1にも示すように、前後一对の端壁11, 12と、左右一对の側壁13, 14と、を備えている。左右の側壁13, 14は、側面視において四角形に形成されている。前後の端壁11, 12は、上辺の中央部が高くなっており、側面視で五角形に形成されている。胴部10の上面および下面には、平面視で四角形の開口部が形成されている。

本実施形態では、左側の側壁14の後縁部に接合片15が連設されている。接合片15は、後側の端壁12の左側端部の内面に接合されている。

【0016】

50

前側の端壁 1 1 には、ペットが出入りする開閉扉 1 6 が形成されている。開閉扉 1 6 は、四角形に形成され四隅が面取りされている。開閉扉 1 6 の周縁部のうち、左右の一方の縦線の一部は、罫線を介して端壁 1 1 と繋がっており、その他の部分は、端壁 1 1 から切り離されている。つまり、開閉扉 1 6 は、罫線を介して端壁 1 1 に対して折れ曲がり可能に連設されており、端壁 1 1 と繋がった罫線を軸として開閉可能となっている。開閉扉 1 6 の形状は一例であって、適宜変更可能である。

左側の側壁 1 3 には、窓 1 7 が形成されている。窓 1 7 は、例えば縦長の四角形に形成され、横方向に間隔をあけて複数設けられている。窓 1 7 の周縁部は、切断線であり側壁 1 3 から切り離されている。窓 1 7 の形状および個数は一例であって、適宜変更可能である。

【 0 0 1 7 】

ブランクシート S (図 2 参照) を各罫線で折り曲げつつ、接合片 1 5 を後側の端壁 1 2 の内面に接合すると、前側の端壁 1 1、後側の端壁 1 2、左側の側壁 1 3、右側の側壁 1 4 によって、平面視で四角形の筒状の胴部 1 0 が形成される。

【 0 0 1 8 】

下側閉鎖部 2 0 は、左右の側壁 1 3、1 4 の下縁部に連設された左右一对の閉塞フラップ 2 1、2 1 と、前後の端壁 1 1、1 2 の下縁部に連設された前後一对の係止フラップ 2 2、2 2 と、を備えている。

【 0 0 1 9 】

左側の閉塞フラップ 2 1 は、図 1 に示すように、胴部 1 0 の下側の開口部の左半分を覆うものである。右側の閉塞フラップ 2 1 は、胴部 1 0 の下側の開口部の右半分を覆うものである。左右の閉塞フラップ 2 1、2 1 の先端縁部同士は、胴部 1 0 の下側の開口部の左右方向の中央で突き合わされている。両閉塞フラップ 2 1、2 1 によって胴部 1 0 の下側の開口部が閉塞されている。

【 0 0 2 0 】

各閉塞フラップ 2 1 の前部および後部には、連結口 2 3、2 3 がそれぞれ形成されている。連結口 2 3 は、後記する係止フラップ 2 2 の固定片 2 4 が差し込まれる穴である。連結口 2 3 を閉塞する蓋板の周縁部のうち、閉塞フラップ 2 1 の前後方向端部側の一辺は、罫線を介して閉塞フラップ 2 1 と繋がっており、その他の部分は、閉塞フラップ 2 1 から切り離されている。つまり、連結口 2 3 を閉塞する蓋板は、罫線を介して閉塞フラップ 2 1 に対して折れ曲がり可能に連設されている。

【 0 0 2 1 】

前側の係止フラップ 2 2 は、両閉塞フラップ 2 1、2 1 の前部の下面に重ねられている。前側の係止フラップ 2 2 の先端部の左右両側の出隅部は面取りされている。前側の係止フラップ 2 2 の先端縁部の左右方向中間部には、前方に窪む凹部 2 5 が形成されている。左右両側の面取り部と凹部 2 5 とで囲まれた部分が固定片 2 4 となる。固定片 2 4 は、左右両側に二か所形成されており、閉塞フラップ 2 1、2 1 の下側に係止フラップ 2 2 を重ねたときに、左右の閉塞フラップ 2 1、2 1 の前側の連結口 2 3、2 3 にそれぞれ差し込まれる。係止フラップ 2 2 には、左右方向に延在する折れ線 2 6 が形成されており、固定片 2 4 の差込時に、係止フラップ 2 2 を一時的に側面視で L 字状に折り曲げ可能となっている。

【 0 0 2 2 】

後側の係止フラップ 2 2 は、両閉塞フラップ 2 1、2 1 の後部の下面に重ねられている。後側の係止フラップ 2 2 は、前側の係止フラップ 2 2 と前後対称の形状を呈しており、前側の係止フラップ 2 2 と同様に、固定片 2 4、凹部 2 5 および折れ線 2 6 を備えている。後側の係止フラップ 2 2 の固定片 2 4 は、閉塞フラップ 2 1、2 1 の下側に係止フラップ 2 2 を重ねたときに、左右の閉塞フラップ 2 1、2 1 の後側の連結口 2 3、2 3 にそれぞれ差し込まれる。このとき、連結口 2 3 を閉塞していた蓋板は、固定片 2 4 によって箱の内側に押される。

【 0 0 2 3 】

10

20

30

40

50

上側閉鎖部 30 は、左右の側壁 13, 14 の上縁部に連設された左右一対の外フラップ（フラップ）31, 31 と、前後の端壁 11, 12 の上縁部に連設された前後一対の内フラップ 32, 32 と、を備えている。左側の外フラップ 31 は、図 1 に示すように、左側の側壁 13 の上縁部に連設され、胴部 10 の上側の開口部の左半分を覆うものである。右側の外フラップ 31 は、右側の側壁 14 の上縁部に連設され、胴部 10 の上側の開口部の右半分を覆うものである。左右一対の外フラップ 31, 31 の先端部には、箱の内側に差し込まれる差込片 33 がそれぞれ形成されている。差込片 33 は、外フラップ 31 の先端縁部に罫線を介して連設されている。左側の差込片 33 と右側の差込片 33 とは、互いに重なり合った状態で下方に垂下している。差込片 33 の前端縁部の基端側と、後端縁部の基端側には、前後方向中間部に窪む凹部 34 が形成されている。凹部 34 は、後記する内フラップ 32 のスリット 55 の端部の係止部 56 に係止される（図 1 参照）。

10

【0024】

左側の外フラップ 31 の後縁部には、接合片 41 が連設されている。接合片 41 は、接合片 15 にも連設されており、後側の内フラップ 32 の左側端部の内面に接合されている。接合片 41 は、内フラップ 32 の先端部より突出している。

【0025】

差込片 33 の先端縁部（下端縁部）には、係止片 35 が形成されている。係止片 35 は、重なり合った左右の差込片 33, 33 同士を固定するものであり、外側係止片 35a と内側係止片 35b とを備えている。

図 3 に示すように、外側係止片 35a は、差込片 33 の先端縁部から基端側に向かって延在する二本の切断線 36, 36 にて区画されており、基端側は罫線 37 を介して差込片 33 に対して折曲可能に連設されている。二本の切断線 36, 36 は、先端側から基端側に向かうに連れて離間距離が小さくなるように八字状に傾斜している。罫線 37 は、前後方向（差込片 33 の長手方向）に沿って延在しており、差込片 33 の先端の辺と平行になっている。二本の切断線 36, 36 の先端側部分には、切断線 36, 36 同士が離れる方向に広がる段差部 38 が形成されている。つまり、外側係止片 35a は、先端縁部が基端縁部よりも長く、先端側がより一層広がった二段の略台形形状となっている。

20

【0026】

内側係止片 35b は、差込片 33 の先端縁部から基端側に向かって延在する二本の切断線 39, 39 にて区画されており、基端側は罫線 40 を介して差込片 33 に対して折曲可能に連設されている。二本の切断線 39, 39 は、先端側から基端側に向かうに連れて離間距離が小さくなるように八字状に傾斜している。罫線 40 は、前後方向（差込片 33 の長手方向）に沿って延在しており、差込片 33 の先端の辺と平行になっている。二本の切断線 39, 39 は、ともに直線状になっている。つまり、内側係止片 25b は、先端縁部が基端縁部よりも長い、台形形状となっている。切断線 39, 39 の先端間の距離は、切断線 36, 36 の先端間の距離より小さく、内側係止片 25b は、外側係止片 25a よりも段差部 38 の分小さくなっている。

30

【0027】

図 5 に示すように、一方の差込片 33 の外側係止片 35a と、他方の差込片 33 の内側係止片 35b とは、互いに重なり合う位置に配置されている。具体的には、図 4 に示すように、左側の差込片 33 には、後方に外側係止片 35a が形成され、前方に内側係止片 35b が形成されている。右側の差込片 33 には、前方に外側係止片 35a が形成され、後方に内側係止片 35b が形成されている。左側の差込片 33 の後方の外側係止片 35a は、右側の差込片 33 の後方の内側係止片 35b と重なり合い、左側の差込片 33 の前方の内側係止片 35b は、右側の差込片 33 の前方の外側係止片 35a と重なり合う。図 5 および図 6 に示すように、互いに重なり合った外側係止片 35a と内側係止片 35b とは、外側係止片 35a 側から内側係止片 35b 側に折り曲げられて、差込片 33, 33 同士を固定する。このとき、外側係止片 35a の段差部 38 が、内側係止片 35b を切り離れた後に形成される切欠きの周縁部を超えて折り曲げられるため、外側係止片 35a が元の位置に戻ろうとしたときに、内側係止片 35b を切り離れた後に形成される切欠きの周縁部

40

50

に引っかかる。つまり、外側係止片 3 5 a は、元の位置に戻り難い。よって、差込片 3 3 , 3 3 同士の固定状態が維持される。

【 0 0 2 8 】

図 4 に示すように、前側の内フラップ 3 2 は、前側の端壁 1 1 の上縁部に連設され、罫線 5 4 において折り畳まれた状態で、両外フラップ 3 1 , 3 1 の前部の下面に重ねられている。前側の内フラップ 3 2 は、罫線を介して山形の端壁 1 1 の上縁部に連設され、後方に向かって折り曲げられている。後側の内フラップ 3 2 は、後側の端壁 1 2 の上縁部に連設され、罫線 5 4 において折り畳まれた状態で、両外フラップ 3 1 , 3 1 の後部の下面に重ねられている。後側の内フラップ 3 2 は、罫線を介して山形の端壁 1 2 の上縁部に連設され、前方に向かって折り曲げられている。内フラップ 3 2 の側縁部は、罫線を介して外フラップ 3 1 の側縁部に連設されている。なお、後側の内フラップ 3 2 と右側の外フラップ 3 1 とは、接合片 4 1 を介して接続されている。本実施形態では、後側の内フラップ 3 2 の先端縁部の右側端に突出部 4 3 が形成されている。突出部 4 3 は、接合片 4 1 の突出部分と接合される部分であって、後側の内フラップ 3 2 と右側の外フラップ 3 1 との接続強度を高めている。

10

【 0 0 2 9 】

内フラップ 3 2 の先端縁部の左右幅方向中間部には、山形の端壁 1 1 の頂部に向かって V 字状に延在する切欠き線 5 1 が形成されている。切欠き線 5 1 の底部には、折畳み片 5 2 が形成されている。内フラップ 3 2 は、切欠き線 5 1 によって、左右に分割されている。分割された左右の分割板部 5 3 , 5 3 は、内フラップ 3 2 の基端側の左右方向端部から、先端側の切欠き線 5 1 の端部に向かう罫線 5 4 によってそれぞれが折畳み可能になっている。分割板部 5 3 は、三角形に折り畳まれる。内フラップ 3 2 が折り畳まれると、切欠き線 5 1 の間にスリット 5 5 (図 1 参照) が形成されるとともに、スリット 5 5 の端部に折畳み片 5 2 が折り畳まれてなる係止部 5 6 (図 1 参照) が形成される。スリット 5 5 には、外フラップ 3 1 の差込片 3 3 が下方に向かって差し込まれる。このとき、差込片 3 3 の端部の凹部 3 4 が係止部 5 6 に係止され、外フラップ 3 1 が内フラップ 3 2 に固定される。

20

【 0 0 3 0 】

上側閉鎖部 3 0 を閉鎖するに際しては、まず、内フラップ 3 2 を内側に折り曲げる。このとき、図 3 に示すように、分割板部 5 3 が折り畳まれ、外フラップ 3 1 が引っ張られて内側に傾斜する。その後、さらに外フラップ 3 1 , 3 1 を倒して、差込片 3 3 , 3 3 同士を重ね合わせて、内フラップ 3 2 のスリット 5 5 に差し込む。そして、箱の内側から、図 4 および図 5 に示すように、互いに重なり合った外側係止片 3 5 a と内側係止片 3 5 b とを折り曲げて、差込片 3 3 , 3 3 同士を固定する。このとき、外側係止片 3 5 a 側から内側係止片 3 5 b 側に折り曲げる。すると、外側係止片 3 5 a の段差部 3 8 が、内側係止片 3 5 b が切り離されることにより形成された切欠きの周縁部を超えて折り曲げられるため、外側係止片 3 5 a が元の位置に戻ろうとしても、内側係止片 3 5 b が切り離されることにより形成された切欠きの周縁部に引っかかるため戻り難い。よって、差込片 3 3 , 3 3 同士の固定状態が維持される。なお、差込片 3 3 , 3 3 同士の固定は、下側閉鎖部 2 0 を閉鎖する前の状態、あるいは開閉扉 1 6 を開けた状態で行うことができる。

30

40

【 0 0 3 1 】

本実施形態の包装箱 1 によれば、係止片 3 5 によって、左右の差込片 3 3 , 3 3 同士が固定されているので、箱の内側から差込片 3 3 に力が加わったとしても、差込片 3 3 , 3 3 同士は離間せずに重なり合ったままである。つまり、箱の内側から差込片 3 3 に力が加わったとしても、差込片 3 3 が上昇することはなく、その結果、フラップが開き難くなるので、閉鎖部の閉鎖状態を保持することができる。

【 0 0 3 2 】

本実施形態では、係止片 3 5 は、ともに台形形状の外側係止片 3 5 a と内側係止片 3 5 b とを備え、重なり合った外側係止片 3 5 a と内側係止片 3 5 b とを、外側係止片 3 5 a 側から内側係止片 3 5 b 側に折り曲げているので、内側係止片 3 5 b を切り離した後に形

50

成される切欠きの周縁部に、外側係止片 3 5 a の先端側の長辺部が引っかかる。よって、差込片 3 3 , 3 3 同士が係止され易くなる。特に、外側係止片 3 5 a は、両側辺に外側に広がる段差部 3 8 がそれぞれ形成されているので、内側係止片 3 5 b を切り離れた後に形成される切欠きの周縁部に、段差部 3 8 が引っかかる。よって、外側係止片 3 5 a が元の位置に戻ろうとしても戻り難いので、差込片 3 3 , 3 3 同士の固定性能がより一層高くなる。

【 0 0 3 3 】

本実施形態では、外フラップ 3 1 の内側に設けられる内フラップ 3 2 が設けられているので、外フラップ 3 1 と内フラップ 3 2 が重なって上側閉鎖部 3 0 の強度が増す。また、内フラップ 3 2 には、差込片 3 3 が挿通されるスリット 5 5 が形成されているので、差込片 3 3 がスリット 5 5 に案内されて位置決めされる。したがって、上側閉鎖部 3 0 の閉鎖作業を行いやすくなる。さらに、差込片 3 3 の両端部には凹部 3 4 が形成され、凹部 3 4 が内フラップ 3 2 のスリット 5 5 の端部の係止部 5 6 に係止されるので、差込片 3 3 が抜け難くなる。

10

【 0 0 3 4 】

内フラップ 3 2 の側縁部は、外フラップ 3 1 の側縁部と連設されているので、外フラップ 3 1 と内フラップ 3 2 との接続部の強度が増す。さらに、外フラップ 3 1 が開き難くなるので上側閉鎖部 3 0 の閉鎖性が向上する。

【 0 0 3 5 】

上側閉鎖部 3 0 は、切妻形状を呈している所以、上側閉鎖部 3 0 の剛性が高くなる。さらに、包装箱 1 の内部空間が大きくなるとともに、包装箱 1 の外観の意匠性が向上する。

20

【 0 0 3 6 】

次に、図 7 および図 8 を参照しながら変形例に係る差込片について説明する。変形例に係る差込片 3 3 は、係止片 1 3 5 の形状が前記実施形態と異なる。前記実施形態の係止片 3 5 は、外側係止片 3 5 a と内側係止片 3 5 b とを備えているが、変形例に係る係止片 1 3 5 は、内側係止片を備えておらず、外側係止片 3 5 a のみを備えている。外側係止片 3 5 a は、前記実施形態の外側係止片 3 5 a と同等の構成であるので、同じ符号を付して説明を省略する。内側係止片に相当する部分には、切欠き部 1 3 5 b が形成されている。切欠き部 1 3 5 b は、前記実施形態の内側係止片 3 5 b の外周形状と同等の形状を呈している。

30

【 0 0 3 7 】

かかる係止片 1 3 5 では、外側係止片 3 5 a は、切欠き部 1 3 5 b 側に折り曲げられて、差込片 3 3 , 3 3 同士を固定する。このとき、外側係止片 3 5 a の段差部 3 8 が、切欠き部 1 3 5 b の周縁部を超えて折り曲げられるため、外側係止片 3 5 a が元の位置に戻ろうとしたときに、切欠き部 1 3 5 b の周縁部に引っかかるため戻り難い。よって、差込片 3 3 , 3 3 同士の固定状態が維持される。変形例に係る係止片 1 3 5 によれば、折り曲げられるものが外側係止片 3 5 a のみであるので、折り曲げ作業を行い易い。さらに、折り曲げられた係止片 1 3 5 が元に戻ろうとする力は前記実施形態の半分（係止片 1 枚分）であるので、差込片 3 3 同士の固定性能が高くなる、

【 0 0 3 8 】

以上、本発明の実施形態について説明したが、本発明は前記実施形態に限定されることなく、その趣旨を逸脱しない範囲で適宜に変更が可能である。前記実施形態では、上側閉鎖部 3 0 は、切妻形状を呈しているが、これに限定されるものではなく、平板状であってもよい。

40

【 0 0 3 9 】

また、前記実施形態では、下側閉鎖部 2 0 は、閉塞フラップ 2 1 , 2 1 と係止フラップ 2 2 , 2 2 とを備えているが、前記構成に限定されるものではない。例えば、外フラップを内フラップに接着するような、他の構成であってもよい。但し、本実施形態の下側閉鎖部 2 0 の構成を採用するのが、包装箱 1 の組み立てにおいて接着剤を用いなくて済むので好ましい。

50

【符号の説明】

【0040】

1	包装箱	
1 0	胴部	
3 0	上側閉鎖部（閉鎖部）	
3 1	外フラップ（フラップ）	
3 2	内フラップ	
3 3	差込片	
3 5 a	外側係止片	10
3 5 b	内側係止片	
5 5	スリット	
5 6	係止部	

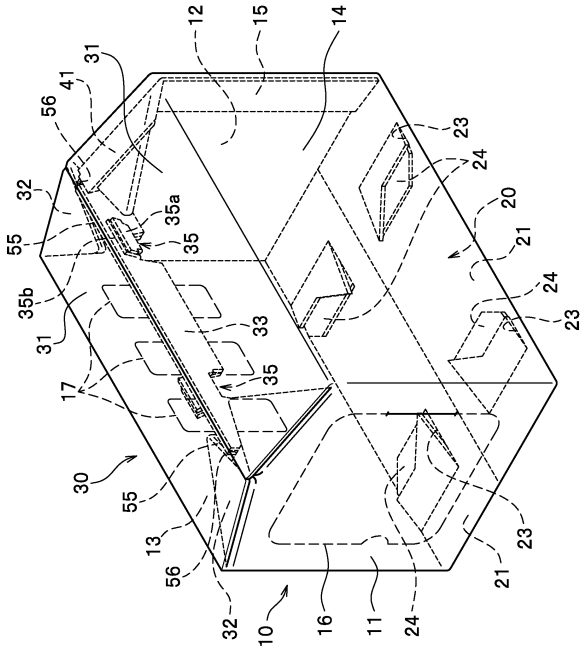
20

30

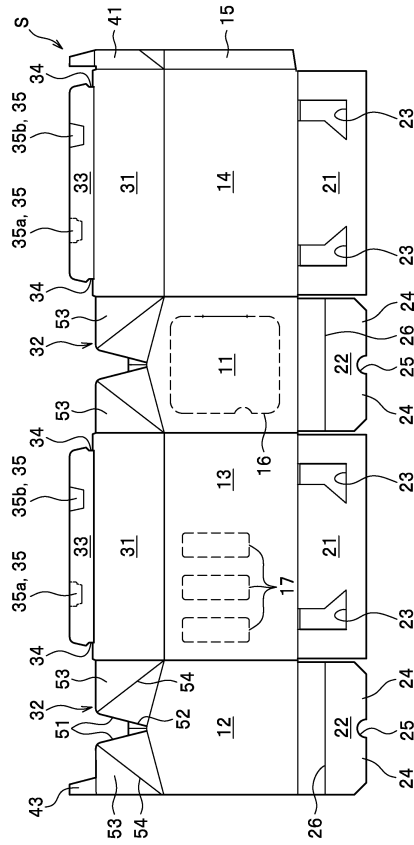
40

50

【図面】
【図 1】



【図 2】



10

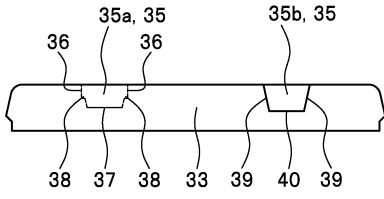
20

30

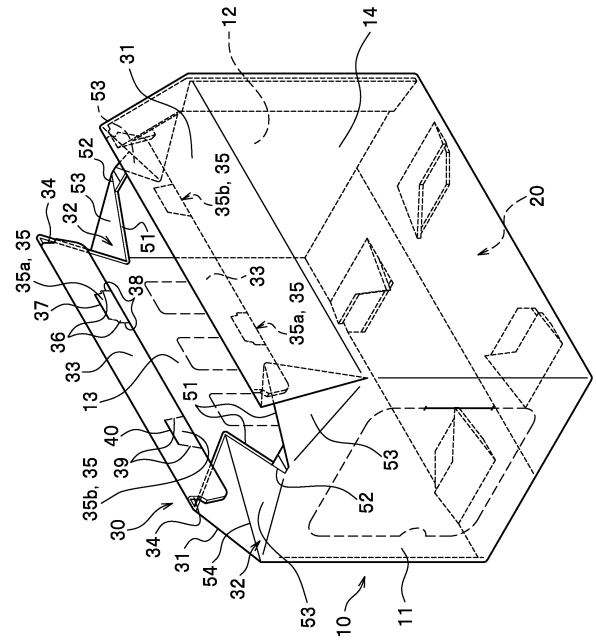
40

50

【 図 3 】



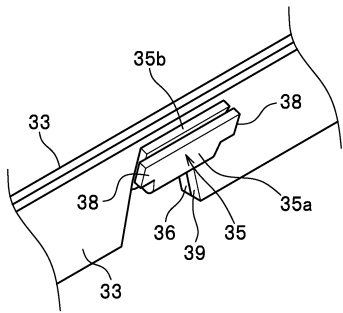
【 図 4 】



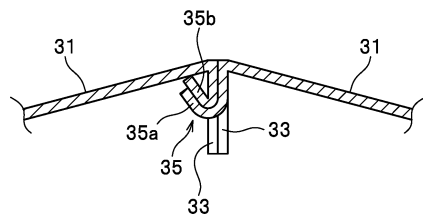
10

20

【 図 5 】



【 図 6 】

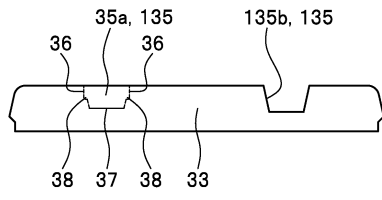


30

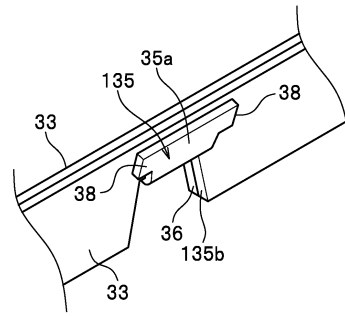
40

50

【 図 7 】



【 図 8 】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

- (56)参考文献 登録実用新案第3228500(JP,U)
特開2003-072740(JP,A)
実開昭61-014629(JP,U)
特開2002-255150(JP,A)
実開昭61-160024(JP,U)
- (58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)
B65D 5/10